国民体育大会京都府選手団ユニフォーム作製業務仕様書

１　委託業務名

国民体育大会京都府選手団ユニフォーム作製業務

２　委託業務

（１）作製するアイテムの種類

①上着（前開きで全開できるもの）

②ズボン（長ズボン）

③帽子（キャップ型）

（２）作製するアイテムの機能、デザイン等

全アイテム共通

【素材】

　・通気性、吸汗速乾性に優れた素材。

　・撥水効果のあるもの。

【機能】

・ウインドブレーカーやクロスジャージ等の生地で軽量感があるもの。

・適度なストレッチ感もあり動きやすいものであること。

・快適性が確保されていること。（着用時期が９月から10月頃までであることから通気性等あるもの）

【色調】（別添色見本参照）

・「三色旗」もしくは「京都府旗」の色を基調としたもの。

〇「三色旗」のエンジ色はスポーツマンの情熱、コバルト、ブルー色は京都の風光“山紫水明”の景を表徴、とそれぞれの色には意味合いがあり、「スポーツにおける京都の色調のイメージ」として相応しい色である。

〇「京都府旗」の赤紫は、各企業やスポーツ団体が京都の象徴として使用していることから、京都のイメージが濃い。

赤紫は、色分解をすると、赤と青で構成されていることから、三色旗の色（赤＝エンジ、青＝コバルト、ブルー）と合致している。また、赤と青は、動脈と静脈のイメージとして例えられ、躍動する生命の象徴の色とされている。

【デザイン】

・躍動感があり、若々しい印象を与えるもの。

・このウエアを着用することで、京都府の選手としての自覚と誇りを持つことができるもの。

・「府章（京都府のマーク）」と「ＫＹＯＴＯ」を施すことで、京都府選手団のユニフォームであることが視覚的に瞬時に伝わるものであること。

・ズボンは、下に着用しているインナーウエアが透けて見えない色やデザインであり、スッキリとしたデザイン構成であること。

・ユニフォームメーカーのロゴマーク等の使用の有無は問わない。使用した場合は、デザインの一つとして評価する。

（３）価格

　　　３点の価格の合計金額　13，000円（消費税込）以内

※すべてのサイズで同じ価格とすること。

（４）ユニフォームの供給

・上着およびズボンの基本サイズは、JASPO規格で、ＳＳ、Ｓ、Ｍ、Ｌ、Ｏ、Ｘ

Ｏ、２ＸＯ、２ＸＯ－４、４ＸＯ－５、６ＸＯ－６の10種類であること。

・帽子の基本サイズは、日本人の標準的な頭囲サイズに対応できること。

・（１）の①～③のアイテムについては、作製後、大会まで約700セットの購入が見込まれる。当初の納入期限は、令和４年に実施する本府選手団の結団式（例年９月）となることから、それまでに所要のセット数が供給できる体制を整えること。

また、令和５年以降については毎年度約300～400セットの購入が見込まれることから、継続的にユニフォームを供給できること。但し、令和３年度に国体が開催されなければ、令和５年度からの採用となる旨容認できること。

・注文、サイズ交換に対し、迅速かつ確実に対応できるよう、製造、在庫確保、京都府内での供給等の体制を整えること。

（５）ユニフォームデザインの作製

令和３年２月15日（月）までに、３点のアイテムについてのデザイン（案）を２つ以上作製の上、提出すること。

（６）試作品の作製

令和３年３月上旬に予定されている「国民体育大会京都府選手団ユニフォーム審査会（以下「審査会」という。）」までに、上記（５）で提出したデザインのユニフォーム試作

品を１着ずつ作製し、提出すること。サイズにより柄やデザインが変化する場合は、そのことがわかるサイズの試作品を作製すること。

また、審査会の日程については、令和３年２月中旬に別途連絡する。